

だいたう

議会報告

日本共産党
大東市議会議員団
大東市谷川1丁目1-1
議員団控室直通
TEL/FAX 871-5588



市議員
つとむ
いづみき 勉



市議員
かつこ
とよあし 勝子



市議員
しげる
とびた 茂

法律相談

3月2日(月)7時~
大東市民会館
※先着順です
871-5588まで

市民要望実現！ 日本共産党議員団奮闘

巡回バス・燃えない小物定期収集

2月3日に行われた「まちづくり」と「いきいき」の両委員会合同の協議会で、市は新年度予算に盛り込むものを含め、いくつかの重要な方向を示しました。その内容は、既報の「国保税の大幅負担」が予定されています。

市民要望の強かった「巡回バス」については6月議会で全会派が取り上げ、9月議会では8人が増便問題を取り上げましたが、市長は「やる」とは答弁しませんでした。共産党からは古崎・飛田両議員が質問をし、交通不便地域への増便だけでなく、高齢者や障害者など福祉の観点からの運行の必要性も打ち出しました。

なお、請願1本・陳情2本が議会に提出され全会一致で請願採択となりました。
日本共産党議員団は、11月25日・大東市長に10項目の重点要望を行い、担当課とも懇談。その必要性を強く指摘し今回の実現となりました。

西部地域に巡回バスを運行

実施時期 平成 21年 10月1日予定
運行期間 2年間「試行」

◎今後、竜間地域・北条地域など実施に向けて市民要望と力をあわせて行きたいと考えています。



不燃小物ゴミを年5回収集へ

電話予約による粗大ゴミ収集について数々の意見・要望が党議員団に寄せられ、昨年の12月議会で古崎勲議員が「小型不燃ゴミの定時収集の復活について」質問を行い「茶碗など不燃小物は年5回の定時収集を検討中」と答弁があり、実現となったものです。

粗大ゴミとして収集していた物のうち、45リットルのゴミ袋に入る大きさのもので、燃えない小物を定期的に収集することになりました。

実施日

(平成21年度から実施)
5月・7月・9月・11月・2月の第2週に年5回の収集日を設け、地域割りに日付を指定し実施します。
現在実施している、電話予約による粗大ゴミ収集の受付と併用して行います。

定額給付金と子育て応援特別手当の支給も

大東市が国の委託を受けて定額給付金を支給する対象者は5万4397世帯で、12万8633人。
これに要する経費は約19億円とされており、ただで

さえ景気回復への効果が疑問視されている同給付金の支給に「これほどの経費をかけてやる必要があるのか」と市民から批判の声が出されています。

妊婦検診の回数増—10回分の金券方式で

少子化のもと、お母さんに子どもを安心して出産してもらうため、「妊婦検診」の回数増が以前から要望さ

れていましたが、新年度から金券で10回分が支給されます。

新田保育園も開設—定員90人に52人

市西部地域では以前から保育需要が高かったのに、南郷第一保育所を第二保育所に統廃合したことで、西部地域での保育所不足が慢性化していました。その後、

市は今回の新田保育園の開設によって、「低年齢児の待機が解消できる」と目論んでいましたが、来年度募集期限の1月が過ぎてフタを開けてみると、1歳児が収容しきれないことが明らかになりました。

